

学校力向上を図る組織的な取組
～確実な取組と次に引き継ぐために～

江差町立南が丘小学校

学 級 数 9

(校長 吉川 聖)

I はじめに

本校は、平成25年度から、管理職のリーダーシップの下、全教職員が一つのチームとなって、包括的な学校改善を推進する「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校として、取組を行ってきている。取組を継続する中で、教職員の入れ替わりに際し、今までの取組をどう引き継ぐのが課題となっている。そこで課題の解決に向け、「教員ハンドブック」の作成と活用に取り組んだ。

この「教員ハンドブック」が学校力向上を図る組織的な取組の一つの礎となるよう、全教職員で見直しを行いつつ、本校の大切な財産として活用していく。

II 南が丘小学校「教員ハンドブック」

平成28年度、他管内の「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校の実践を参考に「教員ハンドブック」を作成した。

1 南が丘小学校「教員ハンドブック」の目的

冒頭で学校力を次の3点に整理した。

- ・ 学校が一体となった組織的な取組が生む教育力
- ・ 個々の教員に過度に依存しないチーム力
- ・ 学校の自己改革力

また、全教職員が次の2点を大切にすることを確認している。

- ・ 「自分たちが子どもの頃受けたやり方」でもなく、「私独自のやり方」でもなく、「子どもに聞いた前の学年のやり方」でもない、「南小のやり方」を知ってもらうこと。
- ・ 一人一人の教職員のもっている「知恵」や「技」を共有し、同じ目標に向かうこと。

この「教員ハンドブック」の考えの下、教員が共通して教育活動に取り組むことができるよう「教師スタンダード」を作成し、児童には、安全、安心に学校生活を送ることができるよう「子どもスタンダード」を作成している。

1 はじめに

江差町立南が丘小学校では、平成25年度より「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を受け、学校力の向上を目指して日々の教育実践に取り組んでいます。

学校力とは

- ・ 学校が一体となった組織的な取組が生む教育力
…一人一人の子どもの成長のために目指す目標や方向が同じであり、学校職員同士のつながりができている
- ・ 個々の教員に過度に依存しないチーム力
…バリエーションの異なる先生が何でもかんでも引き受けているのではなく、同僚性が発揮され、協働的に実践している
- ・ 学校の自己改革力
…具体的な目標設定をして、実践し、できたかどうかを評価して、考え方や方法をすくに変えることのできる職員集団である

このハンドブックは、新採用で初めて学校に勤務する方、他校から異動で入られた方、広域人事交流などで他の管内から来た方などに、「南小のやり方」を理解してもらうとともに、在籍している本校教職員も年度始めに再確認してスタートを切るためのものです。

「自分が子どもの頃受けたやり方」でもなく、「私独自のやり方」でもなく、「子どもに聞いた前の学年の時のやり方」でもない、「南小のやり方」について知っていただき、実践していくことが、共通してどの学年でも取り組むこと、学年によって積み上げることが明確になり、担任が変わる度に「やり方」の違いに子どもたちが戸惑うことが少なくなるのです。

そのことを総称して「南小スタンダード」と呼んだり、指導法について「南小スタイル」という言葉が出てきたりすることもあります。

【『教員ハンドブック』はじめに」から抜粋】

2 南が丘小学校「教員ハンドブック」の具体

「教員ハンドブック」は、「年度当初作業」、「日課表にかかわること」等、全教職員が共通して取り組む11の項目について整理している。その中から2点について説明する。

(1) 教員である前に一人の「社会人」として

本校は、「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校となってから、「人材育成」を目的に、ほぼ毎年新採用教員を受け入れている。また、新採用教員のみならず、全教職員に対して、「社会人」としてのマナーを確実に身に付ける必要性を感じているため、次の7項目について共通して取り組んでいる。

- その1 「電話対応」 その2 「来客対応」
- その3 「名刺交換」 その4 「傾聴」
- その5 「配慮～内側に開かれた同僚性」
- その6 「言葉遣い」 その7 「身だしなみ」

もくじ	
1 はじめに	4 チャレンジタイム(放課後学習)にかかわること
2 年度当初作業(まずはここを!)	11 目的
11) 学級目標の設定	12) 曜日・時間
12) 時間割作成	13) 内容
13) テスト・ドリル・ノートの採択	5 家庭学習にかかわること
14) 児童服入れの準備	11) 基本的な考え方
15) 家庭環境調査票回収後の作成物	12) 家庭学習をすすむときの留意点
16) PTA役員の見学	6 校内委員会等の分団にかかわること
17) 参観日・懇談会	11) 投資委員会
18) 家庭訪問・個人面談	12) 指導サポートチーム
19) その他	13) 会議等の開催
3 日課にかかわること	7 全校的に取り組む活動にかかわること
11) 開校時刻と登校後の過ごし方	11) フレックス班(微細の班)活動
12) 朝学習と朝学習	12) フレックスサポート学習
13) 朝の会	13) 全校絵画部門
14) 全校集会	14) いるさと江草発見学習
15) 5分間の休み時間	15) 書き初め展
16) 中休み・昼休み	8 算数科の進め方について
17) 給食時間	9 出席簿の扱い・個人情報配慮
18) 清掃時間	10 事務処理にかかわること
19) 帰りの会	11 おわりに
110) クラブ・児童会・委員会活動	
111) 下校時間・放課後の活用	
112) 会議日・研究日	
113) 教員スタンダード	
114) 勤務時間	
115) 生活スタンダードと学級スタンダード	
116) 教室環境	
117) その他	

「学校の先生には一般常識がない」と揶揄されることが少なくありません。今後ますます学校外の人々と連携を図っていく時代です。シンプルな知識と行動が信頼の基本となります。

その1 電話対応

【今君でいいか?】
・受け「はい、南が丘小学校 〇〇でございます(です)」「
・かけ「南が丘小学校の〇〇と申します(です) いつもお世話になっております
今お時間よろしいでしょうか など」
【職員室にいないとき】
▲「職員室にはいないので教室かも知れませんが、呼んできますので少しお待ちください。」「もしも「カケ放題」ではない携帯からで、感情的になっている場合、教室まで呼びに行くと30秒以上も待たせたらアウト!
○「だいたいま席を外しております。こちらからかけ直すように致しますか。」「
○「だいたいま席を外しておりますが、お急ぎですか。」
【気を付けたいこと】
▲「校長先生は...」～身内に先生(敬称)はアウト!
→「校長は...」「OOは...」
▲「OO先生は... いらっしゃらないので...」
～身内に敬称&敬語でさらにアウト!
▲電話中の周りのおしゃべり・笑い声は、相手に全部聞こえています。要注意!

その2 来客対応

① PCから手と目を離す(来客でなくても)
② 立ち上がり
③ 笑顔で「おはようございます」「こんにちは」

その3 名刺交換

・外部講師、見学会依頼、打ち合わせ、行政関係者、業者等
オフィシャルな場では初めの挨拶は名刺交換が常識。先生だけがいつも「名刺がなくすみません。」ではいけません。名刺を作成しますのでご活用ください。

その4 傾聴

保護者相手の面談は相手の状況によって、こちらの聴き方を変える必要がある難易度の高いコミュニケーションですが、これを避けてはこの職業が成り立ちません。理論と実践の両方が必要です。カウンセリングを学んでおいて損をすることはありませんが、自ら動き出さなければなかなか学ぶ機会のない領域でもあります。これからの教職人生に生きる先行投資を。
・受容「はい、なるほど。そうですか。～ということですか。...」
・共感「それは大変ですね。困りますよね。それは誰でもそう思いますが...」
・傾聴「つまり～だったんですね。問題は～と～の二つと考えていいですか。...」
落ち着いたら、対応策・指導内容を提案「～ということではいいですか?お電話ありがとうございます。」「提案まで至らない場合もあり、終了後、管理職・主任に報告)さらに、翌日に報告。「今日、子どもたちに～という指導をしました。今後もしっかり見ていきたいと思いますが、気がなりましたがありがとうございました。ご連絡をいただけるとうれしいです。」

その5 配慮～内側に開かれた同僚性

① 次に使う人のことを考える ② 相手の困り感に寄り添う
③ 謙虚に学ぶ ④ 会話しやすい雰囲気
⑤ 手伝う心のゆとり

その6 言葉遣い

① 授業中、基本はパブリック。たまに本音が出て笑いが起きる雰囲気が大変「使い分け」が生きて動く言葉の力
② いつもフランク過ぎて「図々しい」「馴れ馴れしい」のはダメ
③ いつもでない過ぎて「とっさすらい」「本音で話せない」のもダメ
④ 相手、目的、場面、状況によって使い分ける言葉
⑤ メラビアン(マラビアン)の法則とは初対面の印象が「見た目、表情、しぐさ等」で決まるといだけのこと。「人は見た目が9割」を勘違いせず、「話し方」「話す内容」に工夫を。
⑥ 正しい敬語をマスター(尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け)

その7 身だしなみ

① 身だしなみは自制心・自己表現能力といった「セルフマネジメント」
② TPOに合わせた服装
③ 子ども相手は甘く見ない・大人相手は当然
④ 清潔・さわやか・さりげないおしゃれ
⑤ いざという時でもロッカーにスーツがあれば

(2) テスト・ドリル・ノートの採択及び朝学習等の取組

「教員ハンドブック」の取組を始めた平成28年度から、発達段階に応じて、全校で統一した「ドリル・ノート」を使用している。

また、朝学習や宿題、授業中の確認問題や深化問題で活用する国語科、算数科のプリントについても、全校で統一を図り、系統的な指導ができるよう、「教員ハンドブック」に明記している。

「教員ハンドブック」に記載している朝学習に取り組む第6学年の様子。全学年において、プリントをファイリングしている。



3 「教員ハンドブック」の定期的な改善

(1) 「教員ハンドブック」担当教員を中心とした働き掛け

教職員から「教員ハンドブック」への改善等の要望が出された場合は、担当教員から見直しに向けたアンケートが出され、分析結果を基に、全体協議を行い、改善を行っている。

アンケートに対する教職員からの回答

教科	会社名	
国語 ドリル	〇〇社	1字ずつ練習するページと練習問題で分かれています。付属のCDも教材として魅力的なものが多い。
算数 ドリル	〇〇社	A4で書き込みやすい。導入から練習問題がステップで分かれています。段階的に学ぶことができます。
国語 ノート	〇〇社	縦書きの際に大きな字で書きやすい。
各教科 テスト	〇〇社	問題量、難易度を考えて比較して考えた。付属のCDもよかった。
書写 ノート	〇〇社	教科書との関連、1時間で使用する量がちょうどよく使いやすかった。

(2) 各指導部を中心とした働き掛け

本校では、生活指導等に関する業務を担当する「社会性向上部」、学習指導に関する業務を担当する「学習力向上部」、保健・体育指導に関する業務を担当する「体力向上部」として3つの「指導部」を置き、指導部においても積極的に「教員ハンドブック」を活用し業務を進めるとともに、改善充実を図っている。

また、小中一貫に関わる協議会等で、他の小学校や中学校から出された意見等を参考に、小学校高学年から中学校へ進学した際に、一貫したノート指導等が行われるよう、積極的に意見交換を行うなど中1ギャップの解消にも取り組んでいる。

4 児童・保護者との情報共有

(1) 「よくわかる！南が丘小学校」の取組

令和2年度 保存版	合 集	美 藤・信 頼 学 び 合 い・高 め 合 い 習 慣・維 続	よくわかる！南が丘小学校	〒043-0063 糟山郡江差町字南浜町 370 番地 TEL (0139) 52-0524 FAX (0139) 52-5489 お子さんについて心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。
----------------------	------------	---------------------------------------	---------------------	---

欠席・早退

欠席・遅刻の連絡は、**8:05までに**

- 遅刻がない場合は、家庭訪問や勤務先等への電話で確認する機会が多い。
- 早退や体調などの見舞いの場合は、お手紙にてご連絡ください。

遅刻・早退の場合は、原則保護者の送迎を

- 安全確保のため、ご協力をお願いします。

登校・下校・帰宅時刻

登校 7:40~8:05

- 決まった進捗ペースで遅く遅くします。
- 安全のため、早く登校しないよう心がけてください。
- 下校は5校時~1.4時25分、6校時~1.5時1.5分

帰宅時間 5~9月 18時を境に 10~4月 17時を境に 遅くなる前に帰りますよ

校外生活のみまり

- 安全確保のため、お迎えの時刻は厳守してください。
- 決まった進捗ペースで遅く遅くします。
- 安全のため、早く登校しないよう心がけてください。
- 下校は5校時~1.4時25分、6校時~1.5時1.5分

※詳しくは「校外生活のみまり」(夏・冬・春休み)をご覧ください

給食(持ち物)

毎日の持ち物(巾着などに入れます)

- お水
- 三角巾または帽子
- 歯ブラシ
- カップ(飲みがき用)
- 箸
- スプーンは、毎日あります。

※スプーンは、毎日あります。

月・水・金曜日は、**お水**、**三角巾**、**箸**、**スプーン**、**カップ**、**飲みがき用**

※スプーンは、毎日あります。

服装・持ち物

毎日

- ランドセル(背骨を保護)
- 上靴(清潔なものを)
- ハンカチ・ティッシュ
- 連絡簿(常に持ち歩く)
- 体育靴(室内履き用)

毎週

- 雨具(保護者がかかちます)
- 手袋・帽子(室内履き用)

毎週

- 携帯電話・スマホ・お金
- その他学習に必要なもの

※ランドセル・帽子は、お迎えの時刻に、子供にチェックをお願いします。

10月 準備はくせ!

コート・靴ははきかえつけてください。

靴は靴箱にそろえてください。

靴箱に2枚用意してください。

持ってくる学習用具

学習に備えられるよう、毎週の準備はくせ!

鉛筆 5.色水 10枚の1冊

ペン 2.消しゴム

定規 15cm 授業の準備はくせ!

学校にしておく学習用具

全学年共通

- はさみ
- 色鉛筆(クーピー)
- クレヨン
- 工作板(粘土板)
- 紅白鉛
- 鍵盤ハーモニカ
- 三角定規
- コンパス
- 分厚紙(透明なもの)
- リコーダー
- 歌謡セット
- 絵の具セット

ノートをそろえています

1年生: 国語・算数・音楽・図工・理科・生活

2年生: 国語・算数・音楽・図工・理科・生活

3年生: 国語・算数・音楽・図工・理科・生活

4年生: 国語・算数・音楽・図工・理科・生活

5年生: 国語・算数・音楽・図工・理科・生活

6年生: 国語・算数・音楽・図工・理科・生活

宿題と家庭学習

毎日、宿題が出ます

- 学習習慣を身に付けられるように取り組む。
- 基本は、1週間前までに、家庭で行い、学校では提出します。

家庭学習に取り組めます

※家庭学習の手引きをご覧ください。

総量: 学年×10分+10分以上

朝の過ごし方

朝ごはんを食べて体と心にスイッチ・オン

- 朝ごはんを食べると、体がスイッチ・オン。
- 朝ごはんを食べると、心がスイッチ・オン。
- 朝ごはんを食べると、体がスイッチ・オン。

朝読書 8:05~8:15

※朝読書のルールは、子供にチェックをお願いします。

保健室から

保健室は、学校生活の目にした方が安心で、安心の場所。安心して相談できる場所です。

健康を守るために時間を決めて

※健康を守るためのルールは、子供にチェックをお願いします。

令和2年度 主な行事の予定

新入学式・入学式	4月 16日(月)
運動会	4月 14日(土)
合唱コンクール	5月 17日(木)
児童会発表大会	6月 17日(木)
児童会発表大会	6月 17日(木)
児童会発表大会	6月 17日(木)
児童会発表大会	6月 17日(木)
児童会発表大会	6月 17日(木)
児童会発表大会	6月 17日(木)
児童会発表大会	6月 17日(木)
児童会発表大会	6月 17日(木)

電子メディアの利用

ルールを守って使用しましょう

- ルールを守って使用しましょう。
- ルールを守って使用しましょう。

登下校時のお願ひ

安全確保のため、お願ひをお願いします

- 安全確保のため、お願ひをお願いします。
- 安全確保のため、お願ひをお願いします。

給食費等の納入

学習用具等の納入

- 給食費は、納入後3日以内に納入をお願いします。
- 給食費は、納入後3日以内に納入をお願いします。

けが・病気の場合

けがをして病院に行ったら...

- けがをして病院に行ったら...
- けがをして病院に行ったら...

学校力を高めます!

学校力を高めます!

- 学校力を高めます!
- 学校力を高めます!

基本日課表	登校 1校時 2校時	中休み 3校時 4校時	給食 5校時 6校時	休日
-------	------------	-------------	------------	----

※休業日: 8/15(祝)、9/3(祝)、10/10(祝)、11/3(祝)、12/25(祝)

※令和2年度: 8/15(祝)、9/3(祝)、10/10(祝)、11/3(祝)、12/25(祝)

http://www.esashi.ed.jp/minamigaoka/

〒043-0063 糟山郡江差町字南浜町 370 番地 TEL (0139) 52-0524 FAX (0139) 52-5489

「教員ハンドブック」を基に家庭・地域に本校の取組を分かりやすく伝えるため、「よくわかる！南が丘小学校」を作成し、全家庭に配付している。この「よくわかる！南が丘小学校」は、本校の学校生活を「生活」、「学習」、「その他」の3項目に分け、小学校の様子が一目で分かるように工夫している。「教員ハンドブック」の改善に合わせて、「よくわかる！南が丘小学校」もその都度見直しを図っている。

(2) 「学校だより」を通しての情報共有

毎月の学校だよりと併せて『学校力向上に関する総合実践事業』コーナーを作成し、家庭・地域に配付し、全校で取組を進めている実践等について、情報の共有を図っている。

(3) 南が丘小学校Webページを通しての情報提供

情報共有の場として、日常の教育活動をWebページに掲載し、全教職員が「教員ハンドブック」等を確認しながら、同じ方向性で取り組む様子を積極的に発信している。



Ⅲ 成果と課題

本校の課題である「教職員の入れ替わりに際し、今までの取組をどう引き継ぐのか」の解決に向け、作成・活用している「教員ハンドブック」に係る成果(○)と課題(●)は次のとおりである。

○ 学校評価における外部評価の「保護者アンケート」における質問項目「学校は、教職員の

チームワークがよく、全校的に共通した取組を行っている」の回答結果の経年比較を見ると、肯定的評価「はい・まあまあ」と回答する保護者が平成30年度と令和元年度で100%となった。そのため、平成28年度からの「教員ハンドブック」作成が効果的であったと考える。

○ 初任段階の教職員や4月に本校に異動してきた教職員が、不安なく業務に当たることができている(該当者への聞き取り)ことから、効果的であったと考える。

○ 児童が進級し、担任が替わっても、全校的に共通した取組を行っていることにより、戸惑いが少なく学校生活を送れていることから効果的であったと考える。

● 今後、若手教職員が増加することが予想されることから、より本校の実態に即した「教員ハンドブック」に改訂していくために、各種調査等に基づく児童の実態把握や、教育の動向の把握等に取り組んでいく必要がある。

